

## 第1下郷高架橋(上り)現地確認の実施概要について

## 1. 主旨

橋梁の多くは高度成長期(1955～1973年)に建設され、今後、橋梁の老朽化が一斉に進むことから、修繕・架替え等の維持管理に要する費用が急増することが懸念されています。(2030年には、建設後50年以上となる橋梁が全体の約70%を占めます。)

山口河川国道事務所では、橋長2m以上の橋梁約800橋を管理しており、全ての橋梁の点検を完了しています。現在、2巡目の点検を順次実施しており、損傷の進行性や新たな損傷の発生状況の把握に努めております。

現在、この点検・診断済みの橋梁のうち、速やかに補修等を行う必要がある橋梁(C判定)や、状況に応じて補修等を行う必要がある橋梁(B判定)については、その点検・診断結果に基づく早期発見・早期補修の保全対策に計画的に取り組んでいるところであります。今回、損傷が進行している橋梁について、橋梁の損傷状況について現地で確認を行い、その対応方針について検討することとしました。

そこで、橋梁の老朽化が進むなか、早期発見・早期補修の保全対策の重要性が叫ばれており、橋梁の現状と対策の必要性を広く一般に理解頂くことも重要であるため、この現地確認を報道機関の皆様にご公開実施することとしたのでお知らせします。

## 2. 実施日時 平成23年10月19日(水) 9:30～10:30

## 3. 実施場所 山口市小郡前田町地先 第1下郷高架橋(上り)

## 会場案内図



## 4. 点検実施者

中国地方整備局	道路部	道路構造保全官
	中国技術事務所	技術情報管理官
	山口河川国道事務所	道路管理第二課長 他

## 5. 実施内容

9:30～10:30 橋梁点検調書を用いて著しい損傷箇所を確認及び対応方針について関係者で確認します。

## 6. 現地確認橋梁の概要

だいいちしもごうこうかきょう  
橋名: 第1下郷高架橋(上り)

位置: 国道2号 475k505～475k645

架設年次: 1976年(建設後35年経過)

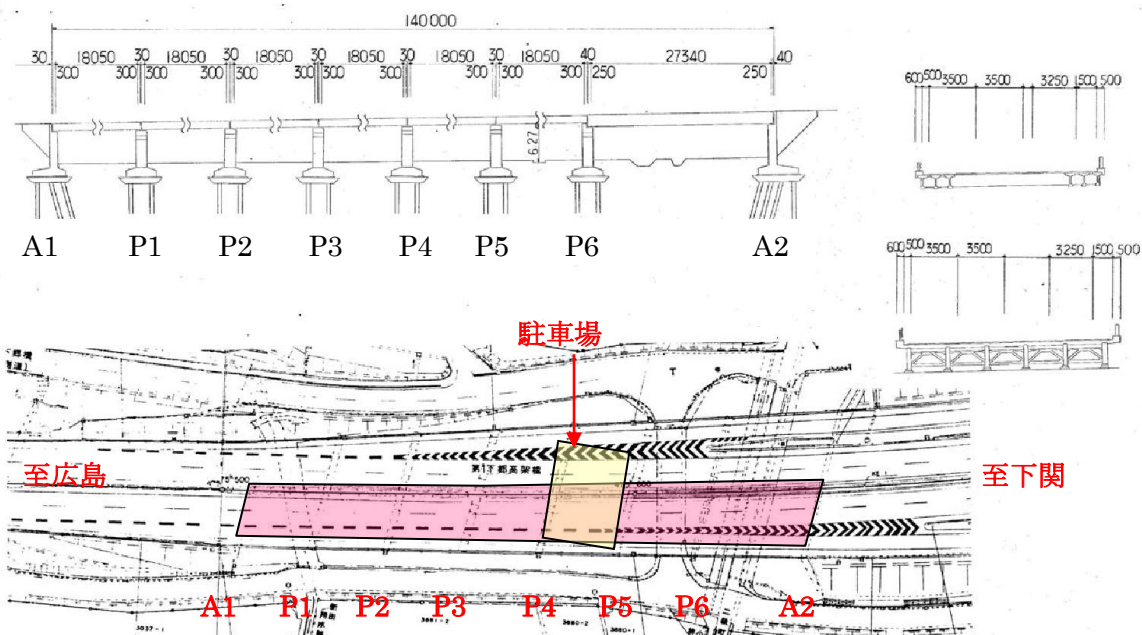
橋梁点検判定区分: C判定(現在のところ、特になし)

※判定区分C: 速やかに補修等を行う必要がある

B判定(鋼部材: 防食機能の劣化、コンクリート部材: ひびわれ等)

※判定区分B: 状況に応じて補修を行う必要がある

### 【橋梁一般図】



【全景】

【損傷状況写真】P2 橋脚

